

就職特集 筑波大学のキャリア形成・就職支援

ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)キャリア支援チーム

砂道の上を走る1台の馬車。道の上には車輪の跡が残っています。ラテン語でcarrariaと記す「轍」、これが私たちの使っている「キャリア(carrier)」という言葉の語源です。

日本では以前、この言葉はキャリア官僚・キャリアウーマンなどといった形で用いられ、エリート意識や就業熱意と結びついていました。しかしながら、急激に変化する社会情勢の影響を受けて、働き方の多様さに人々の意識が向けられるようになると、キャリアという単語の意味の捉え直しが始まります。その結果、職務経歴・仕事・役割だけでなく、自由時間・関連学習・家族や地域における活動を通して形作られていく「個々人の生涯にわたる生き方(ライフスタイル)のプロセス」として「キャリア」を定義するのが一般的になりました。ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)キャリア支援チームでは、こうした中長期的なキャリア概念に基づき、自分の人生を自分らしく形成していくための支援を行っています。

具体的には、本学オリジナルのポートフォリオである「つくばキャリアポートフォリオ(通称:CARIO)」の提供や、学群1年生を対象とした学士基盤科目「キャリアデザイン入門～世界にはばたく未来の自分～」を始めとするキャリア関連授業を開講するほか、各種セミナー・実践対策講座など、多岐にわたる支援プログラムを提供しています。そのなかでも「個別キャリア相談」と、博士後期課程学生およびポストドクターを対象とする「研究サロン構想」には特に注力し、自己理解／社会理解を進めるアイデアと場を提供することに努めています。就職支援はもとより、大学院進学そして研究者キャリアパスの開拓までを担う幅広い支援体制が本チームの特色です。

就職環境に関しては、これまで企業・団体ごとに様々な形式で実施されてきたインターンシップの取扱いが整理され、一定の基準を満た

したインターンシップで得られた学生情報を企業は利用できるようになりました。長らく喧伝されている選考活動の早期化も相まって、優秀な学生を採用するために早い段階から動き出す企業・団体も散見されます。しかしながら本チームでは、個別相談などを通して慌てず自己理解／社会理解を進めるよう学生に伝えています。これらを疎かにすると就職上のミスマッチが起きやすくなり、企業と新入社員の両者が望まない結果をもたらす場合があるためです。

最後になりますが、「就職」「内定」はゴールではありません。世界中に存在する様々な課題—たとえば地球規模課題—を、ある企業・団体での働きを通して解決していくこと。就職するというのは、こうした社会的な問題解決に取り組む人生の出発点であると本チームでは考えています。誰もが自分らしく働ける基盤を築くために、引き続き中長期的な視点でのキャリア形成支援を実施してまいります。



対面形式のキャリア教育授業の様子 2023年夏撮影

ホームページはこちら！



本学博士後期課程学生およびポストドクター(若手研究者)の価値創発のため、「研究サロン構想」を立ち上げました。その中核を担っているのが「PhD×FUTURE」というマッチングシステムです。これは、本学の若手研究者と、彼らとの交流を望む企業・団体が互いの研究を軸に出会い、交流する中で新たな知が創出されることを企図しています。

2024年3月1日時点で339名の若手研究者と76企業・団体の登録があります。本システムを通して、次世代社会における若手研究者の活躍の場が広がるよう努力してまいります。

若手研究者のためのwebサロンシステム

PhD×FUTURE.
ピーエイチディーフューチャー

第1期分授業料納付期日のお知らせ

2024年度第1期分授業料の納付期日が以下の通りとなります。口座振替の登録をされている方は5月24日(金)までに登録口座へご入金ください。口座を登録していない方へは5月中旬頃に払込取扱票をお送りいたしますので、期限までにお支払いください。

なお、授業料免除・猶予申請中の方は対象外となります。

金額 267,900円(ただし、法曹専攻は402,000円)
納付期限 5月31日(金) 引落日 5月27日(月)
■お問い合わせ 財務管理課出納担当(収入)
suitou.syunyuu@un.tsukuba.ac.jp

筑波大学紫峰会基金WEBサイト
<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihokai/>



紫峰の風送付先変更の連絡はこちら
E-mail: renkei@un.tsukuba.ac.jp 電話: 029-853-2030
本号について、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

紫峰の風 第32号 2024年4月発行
発行 事業・リレーション推進室
編集 学生部学生生活課
学生広報会議
(篠崎健太・日3年、榎本陽子・知識2年、齋田知希・応理2年、
笛木悠仁・応理2年、井澤爽世・芸専3年、前原梨乃・障害2年、
後藤修一・工シス2年、宮澤加奈・医学2年)
学生広報部会
(長沼正樹・シス情工群知機P1年、福永拓真・地球4年、
原すみれ・社会4年、村松茜里・知識2年、榎本陽子・知識2年)
タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸専2016年度卒)
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
電話: 029-853-5886 E-mail: gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

紫峰の風 s h i h o u n o k a z e 第32号 2024年4月



筑波大学
University of Tsukuba

『紫峰の風』は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降る風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへお届けする」という意味が込められております。

筑波大学紫峰会基金にご寄附いただいている皆様へ

～学長からお礼のメッセージ～

日頃より筑波大学の活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。保護者のみなさまにおかれましても、厳しい社会情勢が続くなか、大変多くの皆様から「筑波大学紫峰会基金」にご寄附を賜り、心よりお礼申し上げます。

本学は、2023年10月1日、創基151年開学50周年を迎え、この新年度は次の50年への第一歩となります。これからも学生の課外活動や学生生活が充実したものとなるよう、より一層支援を続けてまいります。保護者のみなさまにおかれましては、本学の活動へのご理解ならびに学生への温かいご支援のほど、引き続きよろしくお願い申し上げます。



筑波大学長 永田 恭介



卒業式の様子

令和5年度 筑波大学卒業式・大学院学位記授与式

3月25日、令和5年度筑波大学卒業式・大学院学位記授与式が大学会館講堂にて挙行されました。本年度の学群卒業生は2116名、大学院修士課程生は2180名、理療科教員養成施設卒業生は15名でした。

当日は小雨交じりのあいにくの天気の中でしたが、講堂前は多くの卒業生・修了生で賑わい、仲間たちとともに新たな門出を祝いました。4年前、新型コロナウイルス感染症による影響で予定通りに入学式が行えず学生生活を迎えた卒業生たちは、コロナ禍での経験を糧に新たな一歩を踏み出します。

(取材／広報局員 笛木悠仁・応用理工学類2年)

ー内容ー

キャンパスニュース、学生相談室から、桐の葉日記..... 2、3頁
学生生活課より、国際交流..... 4、5頁
全代会・医学部会・文サ連・芸サ連・体育会活動紹介... 6～9頁
特集、紫峰ギャラリー、課外活動団体援助金..... 10、11頁
筑波大学のキャリア支援・就職支援、お知らせ 12頁



学長挨拶

令和6年度 筑波大学入学式・大学院入学式

4月8日、令和6年度筑波大学入学式・大学院入学式が大学会館講堂にて挙行されました。本年度は学群生は2217名、大学院生は2511名、理療科教員養成施設生7名が入学しました。

桜も未だ満開とならず雨中での式挙行となりましたが、新入生を歓迎すべく待ち構える先輩方のもとに笑顔で集まる姿はこれからの学生生活への希望をあらわしているようでした。きっと新たな場でのさらなる飛躍を目指し、未来を創造していくことでしょう。

(取材／広報局員 榎本陽子・知識情報・図書館学類2年)

今後の主な予定(変更になる場合があります)

春季スポーツ・デー	5月18、19日(予定)
春Aモジュール期末試験	5月23日
春ABモジュール期末試験	6月28日～7月4日
春ABCモジュール期末試験	8月2日～8月8日
同(東京キャンパス・夜間)	7月23日～25日、8月2日、3日
春学期授業終了	8月8日
同(東京キャンパス・夜間)	7月27日
期末試験予備日	8月9日
(東京キャンパス・夜間)	7月30日～8月1日
春Cモジュール期末試験	8月9日
夏季休業	8月10日～9月30日
(東京キャンパス・夜間)	8月4日～9月30日



LINE 筑波大学通信

在学生の保護者向けの情報をお届け！

友だち→友だち追加→QRコードを選択し、
カメラで右のQRコードを読み込む



キャンパスニュース

アカペラサークルDoo-Wop 冬ライブ2024

2月25日、つくばカピオホールにて筑波大学アカペラサークルDoo-Wopによる冬ライブが行われました。アカペラとは楽器を用いず人間の声のみで音楽を奏でる演奏様式のことであり、筑波大学のアカペラサークルDoo-Wopでは現在100名程度が日々練習に励んでいます。今回行われた冬ライブでは19バンドの中からオーディションを勝ち抜いた9バンドがバラードからポップスに渡るまで個性あふれる演奏を披露しました。遠方から



冬ライブ2024 2024年2月25日撮影

演奏を聴きにきてくださった方もおり、会場は非常に多くの人で賑わいました。冬ライブ以外にもDoo-Wopでは定期的にライブを開催しています。一度ぜひアカペラの魅力に触れてみるのはいかがでしょうか。

(寄稿／アカペラサークルDoo-Wop代表 川島惇史・工学システム学類3年)

全代会海外研修



マレーシア工科大学との交流 2024年2月28日撮影

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議(以下、全代会)は2月28日から3月2日にかけて海外研修を行い、マレーシア工科大学およびフィリピン大学の学生組織と交流しました。相手の組織がどのように成り立ち、何を目標とし、実際にどんな活動をしているのかなどを知ったり、「構成員のモチベーション向上はどうすればいいのか」や「留学生支援制度」等に関して意見交換をしたりと、非常に貴重な機会となりました。

今回の研修で得た新たな発想や、研修に参加した全代会構成員への刺激をもとに、これからも学生組織としてさらなる飛躍を目指していきますので、よろしくお願いいたします。

(寄稿／全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議広報委員長 榎本陽子・知識情報・図書館学類2年)

TSUKUBA LIVE !

3月26日、つくばカピオにて「TSUKUBA LIVE !」が開催されました。このイベントは、筑波大学創基151年開学50周年を記念した事業の一環として行われています。

今回の「筑波大学 VS 東海大学」戦は、男子バスケットボールの伝統の一戦です。その呼び名にふさわしく、試合は両チームの選手たちの熱量が間近に感じられ、迫りに溢れたものとなりました。また試合以外にも、筑波大学体育スポーツ局の公式マスコットである「コズミくん」が登場したり、パフォーマンスやお楽しみ企画が行われたりするなど、会場は大いに盛り上がりました。

今回の「TSUKUBA LIVE !」は、6月に女子バスケットボールホームゲームの開催が予定されています。

(取材／広報部会 原すみれ・社会学類4年)



試合と応援の様子



紫峰会基金に寄附してくださった皆様へ

多くのご寄付をいただきありがとうございます。皆様からいただいたご寄付の全額を課外活動団体援助金として使用させていただきます。援助金のおかげで活動にかかる負担が減り、学業や課外活動をより充実させることができました。

現在、課外活動はコロナ禍以前の活気を取り戻し、学生と団体組織双方にとって有意義なものとなっております。団体一同、さらなる飛躍を目指していきますので、引き続き変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

課外活動団体一同

学生相談室から

総合相談窓口 (なんでも相談窓口) 029-853-8430
学生相談受付 (カウンセリング) 029-853-2415

実りある大学生活を！ ～相談窓口のご案内～

人間系助教 慶野 遥香



新入生の皆さん、保護者の皆様、筑波大学へのご入学、ご進学おめでとうございます。在学生の方たちも、気持ちを新たに新年度を迎えていることと思います。

大学生になると、専門性の高い勉強やサークル・部活等の課外活動、一人暮らしやアルバイトなど、初めて経験することがたくさんあります。筑波大学には国内だけでなく世界中から16000人以上の学生が集まっており、人間関係も大きく広がることでしょう。また、大学を出るといよいよ社会人として独り立ちを迎えることになりますので、「自分がどのように生きていくか」という大事なテーマも視野に入ってくる時期です。

大学生活の中で、学生は喜びや充実感と同時に、時にはストレスや悩みを抱えることもあります。周りの優秀な学生と比べて劣等感を感じたり、将来の展望を持てなかったり、目の前の多くの課題に疲弊したり……。こうした悩みは「こんなふうになりたい」「自分なりに頑張ってきたことを認めてあげたい」といった、様々な気持ちと背中合わせだったりします。悩んだり苦労したことが、いずれ変化や成長として表れてくることも多々あります。一方で、こうした悩み事は「1週間

集中して悩んだら答えが見つかる」という類のものではなく、悶々と考え続けてしまう人もよくいますし、悩みや困りごとが重なれば、心身の調子を崩すことがあっても不思議ではありません。

そのようなとき、またそのようなお子様を心配される保護者の方に向けて、筑波大学には様々な相談窓口があります。まず、どのようなことも気軽に相談していただけるのが「総合相談窓口」です。つくばエリアと春日エリアに設置され、予約なしでカウンセラーに相談することができます。学生だけでなく、保護者や教職員の方たちもよく利用されています。また、「学生相談室」では同じくカウンセラーが相談に当たりますが、原則予約制で担当者がつき、困っていることを継続的に相談していくことができます。留学生の方には英語・中国語に対応した留学生相談室も利用していただけます。

また、「保健管理センター」では内科、整形外科、精神科の医師の診療を受けることができます。ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)では、ダイバーシティ推進活動、障害学生支援、学生等のキャリア支援、LGBT等支援を主な活動とし、学生や教職員の多様なニーズに応じられるよう取り組みを行っています。

皆さんが実りある学生生活を送れるよう、私たちも大学の一員としてサポートしてまいりますので、いつでもご利用ください。

<学生相談室ウェブサイト>

<https://soudan.sec.tsukuba.ac.jp/>



桐の葉日記

4月の訪れとともに、新たな始まりの予感が漂っています。新年度の幕開けを迎えるこの季節、新入生と同じく私も総合学域群から新しい学群に進学し、喜びとともに些かの緊張を感じています。環境の変化には不安もありますが、そこには成長のチャンスが潜んでいると考えています。そのチャンスを物にし、自分自身の能力やスキルを引き上げるために、新しい経験や未知との遭遇を精一杯楽しみたいと思っています。新たな世界への一步を踏み出す準備が整った今、自信を持って前進し、可能性に向かって進んでいきましょう。新しい出会いや経験が、私たちの4月をより豊かに彩ってくれることでしょう。新たな学期が、成長と発見の旅路であり、新たな可能性を切り開く契機となることを願っています。

(文責／体育会広報局長 後藤修一・工学システム学類2年)



大学の風景



春を告げるコブシの花



陽春

【本学での宗教団体の活動実態】

学生サークル等になりすまして勧誘している宗教団体は、大学周辺のアパート、マンション等の一室や一軒家を借りて活動の本拠地にしています。上級生に言葉巧みに勧誘された新入生は、徐々にマインドコントロールにかかっていきます。ようやく宗教団体であることを告げられる頃には、マインドコントロールも終わり上級生との信頼関係も構築され活動を続けてしまうようです。2年生になると、今度は自らが新入生を勧誘する側になります。

本学では、勧誘を受けた学生や途中で脱会した学生などから多くの情報を得ておりますが、ある宗教団体では、Web上に「新入生の生活相談」等のブログを作るなど、巧妙な勧誘を続け、新入生を勧誘していることが確認されています。

【本学における宗教活動の制限】

一般生活上においては、思想・信条の尊重（信仰の自由）・自治的活動（結社活動や意見表明の自由）を理由なく制限することはできませんが、本学では、『国立大学法人筑波大学学生の活動に関する法人規程』において、学内における特定の政党を支持する政治活動や特定の宗教のための宗教活動を禁止しています。その大きな理由は次の3つの理由からです。

①サークル活動であれ、宗教活動であれ、学生の本分である学業を圧迫するのは問題です。宗教団体は、学生に勧誘や献金のノルマを課します。授業時間以外は、朝から夕方までキャンパス内で勧誘を行ったり、夜はアパート等への訪問伝道を行ったり、集会参加の旅費や献金のために膨大な時間をアルバイトに費やしたりすることにもなります。

②正体や活動目的を隠し、マインドコントロールを駆使して勧誘を行う団体は、それ自体が個人の自由な意思決定を阻害しているといえます。また、そのような勧誘行為を行う学生も、かつては十分な情報や適切な説明を受けずに入信した被害者であり、勧誘する者、される者とも早期の対応が必要となります。

③大学教育、特に1年次、2年次においては、学生の柔軟で自律的な思考能力を涵養することが大きな教育目標です。したがって、この時期に特定の宗教的信条や人生観のみを教え込み、学生の視野と活動を一定の範囲に囲い込むことは教育上問題です。学生自身が自ら選択した結果だとしても、リベラルアーツの考え方や自分が自分らしく生きるといった現代的理念から考えると大いに問題があると言えます。

【新入生や就活生がターゲット？】

毎年、入学式後のサークル勧誘時期には「学生サークル」、学生生活に慣れてくると「ゼミや勉強会」、就職活動の時期になると「就活相談」などと称して、宗教団体が正体を隠し、親切・丁寧な声掛けで勧誘活動を行っています。いったん参加してしまうとマインドコントロールが進み入会（入信）に至り、自分の意志で脱会することが難しい団体が多いようです。

正体を隠して悪質な勧誘を行う宗教団体は、右も左も分からない新入生や就活に悩みを抱える学生をターゲットに、一見宗教団体と分からないような巧妙な手口で勧誘を行ってきます。「私はそんな変なことにだまされるはずがない」と思っている人ほど要注意です。

本学においては、授業（ファーストイヤーセミナー）や各種配布物、ポスターを通じて注意喚起するなど、その対策に取り組んでいます。が、勧誘される側の学生に危機感がないことから、被害に遭う学生が後を絶たない状況です。

【勧誘事例】

事例1

学食で福祉サークルを名乗る先輩から勧誘を受け、一度参加した際に優しく迎え入れられた。その後は、毎日電話が来るようになり、風邪をひいて休んだ時には手紙をもらい、感激した。4月後半に1泊2日の合宿に誘われて参加した時に、宗教らしい内容の講義があったため、先輩に「宗教団体ですか？」と尋ねたが、「違うよ。自分を高めるための勉強だよ。」と言われた。しかし、違和感を払拭できず、クラス担任に相談したところ、学生生活課へ相談するよう勧められ、その後、自ら辞める決意をした。

事例2

学内を歩いていた時に、2年生から「人生の目的を考えるサークル」に誘われた。一度は断ったものの、自分の連絡先を教えてしまい、何度も誘われたため参加することにした。毎日、大学の外にあるマンションの1室に通い、「人生の目的」について先輩からの話を聞いた。5月には、「新勧合宿」に誘われ、「仏教に説かれている絶対の幸福」について話をされ、徐々に仏教系の「宗教」であることを告げられるが、優しくしてくれた先輩方を裏切れない気持ちで、そのまま宗教団体に入ってしまった。2年生になるとときには、新入生を勧誘する側になってしまった。

【最後に】

これまで、信仰の自由を尊重するということから、宗教等の勧誘に対し大学がきちんと対応することが難しい面は確かにありました。しかし、筑波大生として受入れた以上、学生が悪質な勧誘を行う宗教団体の被害に遭うことのないよう、大学が予防に尽力すべきだということは言うまでもありません。これらの宗教団体の活動について、予防教育や情報を提供し被害を最小限にとどめることは大学の重大な責務です。

本学では新入生向けの冊子（セーフティライフ*¹）等で悪質な勧誘を行う宗教団体に関して再三注意を呼び掛けていますが、巧妙な手口により被害に遭う学生が少なくありません。さらに、令和4年4月からの成年年齢引き下げに伴い、保護者の力が及ばなくなったため、宗教団体の標的になることが懸念されます。

信者になった学生は、家族、友人、先生からの忠告を一切受入れられなくなってしまい、宗教団体の教えの下に行動し、そして、勧誘する側になってしまいます。

保護者の皆様におかれましては、お子様の帰省や電話等での連絡の際に、不審な勧誘に騙されないように注意を促すとともに、このようなことで困ったときには、直ちに大学の総合相談窓口や学生部学生生活課に相談してください。

※この記事は、個人の信仰を批判するものではなく、正体を隠した悪質な勧誘に騙されないよう注意を促すものです。
セーフティライフ*¹

<https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-support/>

○総合相談窓口	029-853-8430
○学生部学生生活課	029-853-6092,2245,2246

【国際交流イベントの開催】

本学は「国際性の日常化」をスローガンに学内の国際化を推進し、グローバル人材の育成を推進しています。スチューデントサポートセンター国際交流支援室では、学生の海外留学を支援すると同時に、学生が海外に興味をもつきっかけをつくるためにも、年間を通じて様々な国際交流イベントを開催しています。2023年度は以下のイベントを開催し、日本人学生と留学生との交流が促進されるような機会を提供しました。

OGlobal Chat

日本人学生や留学生が学生スタッフとしてファシリテータを務めるチャットイベント。参加者は、ファシリテータが企画したゲームなどを通して各言語の会話を楽しんだ。

- ・English（火・木）
- ・Japanese（水）
- ・French/Spanish（金）※同時開催
- ・Multilingual（火）

○国際交流フェス< IMAGINE THE 海外>

留学生団体によるブースでの各国・地域の文化紹介や学生団体による日本の伝統文化の実演、その他、異文化パフォーマンスなどを実施。留学に関する相談会や説明会も行った。

○日本文化ウィーク

日本文化を通して日本人学生と留学生が交流を深めるためのイベント。期間を通して、1500人以上の学生が正月遊びや餅つき・着付け体験などを楽しんだ。

【海外留学のための経済的支援】

本学では、学生の海外留学を促進し、世界で活躍できるグローバル人材の育成を目指しています。この目的を達成するため、2015年度に本学独自の海外留学支援制度「はばたけ！筑大生」を創設し、海外渡航を希望する学生への経済的な支援を行っています。令和6年度も年3回の募集を予定しています。

プログラム	支援予定額(すべて給付型)
国際交流協定校 交換留学支援 プログラム	月額上限 8万円
キャンパスイン キャンパス(CiC)等 支援プログラム	月額上限 8万円 ※ CiC短期は上限15万円
海外武者修行支援プログラム	上限 20万円
海外学会等参加支援プログラム	上限 15万円
語学研修・海外研修参加支援 プログラム	上限 10万円
オンラインを活用した国際的な 教育・交流プログラム	1登録あたり 一律3万円

*なお、昨今の航空券価格の上昇等を考慮して、令和6年度から、上記支援のほか新たに一時支援金（地域により1～5万円）を加えて支援する予定です。

これらのイベントに参加した学生からは、参加して良かったという声を多くいただきます。今後もスチューデントサポートセンター国際交流支援室では、国・文化の壁を超えた学生同士の交流が生まれるような企画を実施する予定です。



チャットイベントの様子



日本文化ウィークでの餅つき体験の様子

スチューデントサポートセンター
国際交流支援室
<https://ssc.sec.tsukuba.ac.jp/ies-top>



海外武者修行支援プログラム(ドイツ)

その他、トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム、JASSO 海外留学支援制度、民間奨学財団等の各種奨学金制度を活用した支援や、対面及びオンラインを活用した短期研修や国際交流プログラム等の実施を通して、海外留学に対する関心や動機づけの強化を継続して進めています。

<https://ssc.sec.tsukuba.ac.jp/ies-top/go-abroad-top/scholarship-4-ga>



全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議活動紹介

委員長挨拶

新入生の皆様、筑波大学へのご入学おめでとうございます。また、ご家族をはじめとする関係各所の方々にも心よりお祝い申し上げます。全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議(以下、全代会)にて令和5年度議長を務めておりました、社会学類4年の林凜太郎と申します。

本紹介文にて、全代会についてご紹介させていただきます。

全代会とは、「学生の権利・利益を守ること」を目的として、各学類等から選出された代表者によって組織され、筑波大学に所属する全学生とともによりよい大学を創るために活動しております。

全代会では、学生から集められた意見を基に副学長や多くの大学職員の方と意見交換を行いながら、学生の要望をかなえるため、日々活動を行っております。

教育環境の改善というような、学生を不利益から守るという活動に限らず、コロナ禍で入学式が開催できなかった学生に向けた入学式の開催など、大学生活を、ひいては大学生活という思い出をより良いものにしていく為に努力をしております。

これから、学生の皆様の大学生活という数年間の思い出がよりよい思い出になるよう、全力で活動いたしますので、新入生の皆様の大学生活の助けになることができればと思います。また、保護者の皆様におかれましては、今後とも全代会の活躍を温かく見守っていただけますと幸いです。

(寄稿／全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議議長 林凜太郎・社会学類4年)



情報処理推進特別委員会



「第3回 UNTIL.LT」開催の様子 2023年12月3日撮影

情報処理推進特別委員会は、本学における情報関連サービスの提供や、その他学生などによる情報処理に関する活動の推進、それらを通じた学生の利便性の向上の実現を主な目的として設立された全代会の特別委員会です。

本年度においては情報技術に関する知見を共有・知見を深めあうとともに、学生同士の交流の促進を推進しております。

また、その他にも、新入生向けに Web 上でサークル等を紹介する「新歓 Web」などのサービスの開発や提供を行うなど、「情報処理」を通じた学生らの利便性の向上を目指して活動しております。(寄稿／全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議情報処理推進特別委員会令和5年度委員長 宮沢純正・知識情報・図書館学類3年)

医学部会活動紹介

委員長挨拶

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる生活や新たな出会いに大きな期待を胸に抱いていることと思います。一方で、新しい環境で過ごすことに対して不安や戸惑いを感じているかもしれません。大学生活では、もちろん楽しいこともあれば、時にはつらいこともあるでしょう。しかし、これからの様々な経験がきっとあなたの大学生活に彩りを与えるに違いありません。そのような大学生活を部活動という面から支えているのが体育会執行委員会です。この体育会執行委員会の下に設置されているのが医学部会執行委員会であり、医学部会に所属している課外活動団体の運営がスムーズに行われ、大会で良い結果を残すことができるようにサポートしています。構成員は委員長、副委員長、広報局長、総務局長、会計局長、財務局長、書記局長の合計7名です。例えば、総務局長であれば部の代表者が集まる会議の進行、資料作成を行なっています。また、会計局長であれば各課外活動団体から領収書を受け取り医学部会の支出を管理したりしています。

今年度からは新型コロナウイルスによる活動の規制の多くは緩和され、以前の活気が戻ると考えられます。昨年度は普段の練習や大会の参加も感染症蔓延以前のように行われ、合宿を行った団体も見られました。本格的な活動の再開が始まる中、医学部会の皆さんが円滑に活動することができるよう委員一同、精一杯努めて参りますので今後ともよろしく願いいたします。

(寄稿／医学部会執行委員会委員長 東木美桜・医学類2年)

医学ハンドボール部



茨城県一般ハンドボールリーグ 2024年1月28日撮影

医学ハンドボール部ではプレーヤーとマネージャー合わせて約60人が活動しています。初心者・経験者問わず、さまざまな学類の部員が練習に励み、楽しんでます。男子部は月、水、金曜日、女子部は水、金、日曜日の週3回、各2時間練習しています。

昨年度の大会では、東日本医科学生総合体育大会にて男子部3位、関東医歯薬獣系大学ハンドボール秋季大会にて男子部準優勝、女子部優勝という結果を残しています。そして、1月に行われた茨城県一般ハンドボールリーグでは男子部が接戦を制し一部リーグ昇格を勝ち取りました。イベントは男子部女子部合同で行われ、学年の垣根を越えて全力で楽しむことができます。また、医系部活ではありますが男女とも医学群以外も多く所属しており学類をこえた交流もすることができます。

今年も更なる高みを目指してチームのレベルアップに努めます。応援よろしく願いします。

(寄稿／医学ハンドボール部主将 川村航一郎・医学類4年)

文化系サークル連合会活動紹介

委員長挨拶

はじめまして。第49期文化系サークル連合会(以下、文サ連)の運営委員長を務めております、岩本樹里と申します。

文サ連は文化系の活動を行う団体が所属し、各団体が円滑に活動できるよう、学生主体で運営されている組織です。具体的には印刷室や会議室等の共用部の管理や広報活動、会計業務の支援などを行っております。また、ご協力者様からの寄付金も適切に配分し、各団体の活動に役立てております。皆様のあたたかいご支援により充実した活動を行えておりますこと、厚くお礼申し上げます。

新入生の皆様は、新生活への期待に胸を膨らませていらっしゃるかと存じます。サークル活動でしか得ることのできない経験や交友関係がきっとありますので、ぜひご自分の興味のある団体を探してみてください。皆様の学生生活が素晴らしいものになりますよう、文サ連一同心からお祈りしております。

(寄稿／第49期文化系サークル連合会運営委員長 岩本樹里・地球学類3年)



マジシャンズクラブ



雙峰祭にてマジックショーの発表中 2023年11月4日撮影

マジシャンズクラブは、その名の通りマジックの練習や発表を主な活動とした団体です。活動日は火曜日と金曜日の19時から21時です。普段は仲間たちとマジックを研究し、よりよいマジックを目指し活動しています。活動時間以外でも遊ぶほど学群や学年を超えて楽しく活動しています。

主な発表の機会は、新入生歓迎祭、まつりつくば、雙峰祭などで2月末には1年生によるマジックショーが開催されました。マジックの種類はトランプ・サイコロ・フォークなどを使ったクロースアップマジックや、カード・鳩・傘などを使ったステージマジックなど多岐にわたります。

(寄稿／マジシャンズクラブ代表 廣中温輝・心理学類3年)

園芸クラブ



秋のサツマイモ掘りの様子 2023年11月11日撮影

こんにちは！園芸クラブです。本サークルでは毎週土曜日に花や野菜を育てる活動をしています。平砂学生宿舍共用棟前と大学病院前にある花壇を整備しているのは、私たち園芸クラブです。また、一の矢学生宿舍共用棟前には畑があり、旬の野菜を育てています。昨年度はトマトやモロヘイヤなど、バラエティー豊かな野菜が収穫できました！

ほかにも、BBQや餅つき大会、筑波実験植物園の見学など、年間を通してさまざまなイベントを企画しています。学類も学年もばらばらな園芸初心者たちが植物を通してゆるっと繋がっている、私たちはそんなサークルです。

(寄稿／園芸クラブ広報 岩岡知里・障害科学類3年)

茶道同好会



稽古の様子 2023年6月14日撮影

私たち茶道同好会は、日本の伝統文化である「茶道」に親しむサークルです。

活動日時は毎週月・水曜日の18時から21時ごろまで、活動場所は開学記念館です。月曜は自主練、水曜は茶道を極めていらっしゃる外部の先生方をお呼びしています。また普段のお稽古の他に、茶会を開くこともあり、昨年度は6回ほど開催いたしました。夏には京都へ行き、各地を観光して茶道への学びを深めつつ、会員同士の仲を深める機会となりました。

全体の活動を通して、茶道のお手前だけでなく、掛け軸や茶花、和歌や漢詩など、茶道を取り巻く様々な日本文化に触れることができます。

(寄稿／茶道同好会会長 藤川菜名・知識情報・図書館学類3年)

芸術系サークル連合会活動紹介

委員長挨拶

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。芸術系サークル連合会(以下、芸サ連)第48期運営委員長を務めている、ギター・マンドリン部の津久井莉子です。ここでは、芸サ連の活動について簡単に紹介します。



芸サ連とは、多様な芸術活動に取り組む31の課外活動団体によって構成された学生組織です。芸サ連では、加盟団体の運営支援や加盟団体同士が交流する機会の提供、本学及び地域における芸術の振興を目的として活動しています。芸サ連の運営は、責任者会議と運営委員会という2つの組織が担っています。責任者会議は、各団体の代表者が集まり、芸サ連の運営方針を協議する会議です。運営委員会は、各団体から選出された運営委員で構成されており、責任者会議の決定に基づいて加盟団体の運営支援や芸サ連が主宰するイベントの企画運営、広報活動等を行っています。

芸サ連に所属する団体の芸術活動は音楽、演劇、書道など様々で、それぞれの団体が発表の機会に向けて日々活動しています。発表の機会の多くは一般公開されていますので、ぜひ足を運んでみてください。

そして、芸サ連は今後も様々な活動を通して加盟団体の支援に尽力していきますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(寄稿／第48期芸術系サークル連合会運営委員長 津久井莉子・生物学類3年)

お笑い集団 DONPAPA



デビューライブ『新月を見上げて』2023年6月18日撮影

私たちは筑波大学公認お笑いサークル、DONPAPA(ドンパッパ)です。「お笑いをやっている」と言うとなんだかどっつきにくいのでこう言っています。お笑いサークルを知らない人からすると、どのような集団なのかと思うかもしれません。DONPAPAでは40人程度の演者やスタッフが、お笑いをしたり、観たり、支えたりしています。つくばで気ままにやる人、東京のライブに出る人、舞台に立つ人、その舞台を作る人…楽しく自由に活動していますが、お笑いに対する情熱は負けません。最近の部員の実績としては、乙女ブレンド(M-1グランプリ2023、ナイスアマチュア賞&3回戦進出)、ミックストマトジュース(フジテレビ『ネタパレ』出演)などがあります。

昨年は5周年を迎え、初めてつくばと東京の2か所で記念ライブを開催しました。皆様に笑っていただけるよう、今日もお笑いに向き合っています。

(寄稿／お笑い集団 DONPAPA 副代表 今井陽南太・社会学類2年)

合唱団むくどり



土浦市三師会忘年会での依頼演奏 2023年12月1日撮影

合唱団むくどりは、合唱コンクールの定番曲や親しみやすいポップス、本格的な合唱曲まで、様々なジャンルの合唱曲を演奏しています。2023年度は、学内の他の合唱団との合同新歓コンサートから始まり、雙峰祭のステージ企画やつくば市民文化祭での演奏、土浦市三師会からの依頼演奏など、様々な場で演奏させていただきました。大学から合唱を始めた人や、中高から続けている人など、13名と少ないですが、個性豊かな団員たちで活動しています。

日々の練習や選曲の際には団員それぞれが意見を出し合い、少人数ならではの魅力を引き出せるような曲づくりやステージづくりを行っています。また、練習後のご飯会やOB主催の花火大会など、合唱以外でも楽しめるイベントを行い、アットホームな雰囲気大切に活動しています。

(寄稿／合唱団むくどり代表 今井響・地球学類3年)

ときめき太鼓塾



福祉施設での演奏の様子 2024年3月5日撮影

こんにちは！ときめき太鼓塾です。私たちは「太鼓で皆を幸せにする」をモットーに和太鼓の演奏を楽しむ団体です。篠笛や鳴物も演奏しています。

主な活動内容は、学内外のイベントや福祉施設での公演です。良い演奏をお届けできるよう日々練習に励んでおります。特に春休みと夏休みには合宿があり、練習に打ち込める良い機会となっています。試行錯誤の結果、いい演奏ができた時の喜びは何物にも変え難いです。

塾生は現在10名です。少人数のためメンバー同士の接点が多く、良い関係を築くことができている。いつも和気あいあいとした雰囲気の下、活動しております。

今後とも太鼓で皆様を幸せにすべく、楽しく・真剣に和太鼓と向き合って参りますので、私たちの活動を見守っていただけますと幸いです。機会がありましたらぜひ、演奏の方も聴きにいらしてください。

(寄稿／ときめき太鼓塾会計 山岡沙希・比較文化学類3年)

体育会活動紹介

委員長挨拶

第48代筑波大学体育会執行委員会委員長を務めております、廣瀬健大と申します。日頃より体育会へ様々なご支援をいただきありがとうございます。



筑波大学の体育会は昨年新たに1団体が加盟し、現在72団体が構成されています。全国大会さらには世界を狙うハイレベルな団体もあれば、初心者でも安心して楽しむことができるサークルもあり、それぞれの学生の求めている大学生活に合わせた団体が活動することができるのが魅力です。

私は体育会執行委員会に入ったことで、改めて筑波大学の体育会の凄さを感じています。そしてこの体育会をより良いものにするために、現在も試行錯誤を重ねています。昨年までの数年間は新型コロナ流行の影響によりオンライン上で会議を行うなど、団体の声が聞こえにくい状態となっていました。そこで今年からは、対面で直接相談できる機会を設け、より活発な体育会にしていきたいと考えています。第48代の委員長として、また一筑波大生として、有意義な時間を過ごせるよう日々精進していきますので、今後とも体育会への変わらぬご声援の程よろしくお願いいたします。

(寄稿／体育会執行委員会委員長 廣瀬健大・地球学類4年)

フィールドホッケー部



試合後の一枚 2023年10月15日撮影

皆さんはフィールドホッケーというスポーツをご存知でしょうか。本競技は世界的に人気なスポーツであり、夏季オリンピックの競技種目でもあります。

しかし、日本における知名度は低く、弊社も大学から競技を始めたという部員が大勢います。このように経験が少ない中で、それぞれが考え、意見を交わすことで、主体的に活動を行っているという点は弊社の特徴であり、一つの強みでもあります。

直近の3部秋季リーグではこの強みを発揮し、オープン参加ではありますが、リーグ勝ち点2位という結果を残すことができました。今後この強みを活かし、部としての成長、目標の達成を目指して行きます。

本文を契機に、少しでもフィールドホッケー競技に興味を持っていただけたら幸いです。

(寄稿／フィールドホッケー部主将 坂本航琉・人文学類3年)

馬術部



全日本学生馬術大会に3種目総合科目での出場 2023年10月6日撮影

体育会馬術部は学生13名が所属し、8頭の乗馬と1頭のポニーとともに活動しています。ほぼ全員が大学で馬術を始めた初心者ですが、関東学生馬術大会や全日本学生馬術大会の出場と上位進出を目指し、日々精進しています。令和5年度には、関東学生馬術大会と全日本学生馬術大会に馬場馬術競技や障害馬術競技の他、3種目総合科目に団体で出場し、それぞれ個人3位入賞、個人4位入賞を果たしました。また、県大会や学生交流試合、乗馬クラブにて行われる試合などにも参加しています。活動時間は休みの月曜日を除いて、平日は基本5時半から8時10分まで、休日は10時10分までです。合宿については夏季(9月頃)に2週間程度、春季(3月頃)に1週間程度、馬術苑中島トニアシュタールで行われます。学年分け隔てなく仲が良く、一人一人が部活動に真摯に向き合い、ベストを尽くしています。

(寄稿／馬術部主務 山田美浩・情報メディア創成学類2年)

蹴球部



東京国際大学との優勝決定戦(関東大学サッカーリーグ戦) 2023年11月4日撮影

1896年に創部し、日本で最古のサッカークラブの一つである蹴球部は「大学サッカーを牽引し続ける」というVisionを掲げ活動しています。弊社OBの三苫薫選手のように、日本を代表する選手を目指し日々練習に励んでいます。昨年はJリーグの世界に進んだ4選手などを中心に戦い6年ぶりに関東リーグを優勝しました。また、セレクションがなく開かれたクラブであることも大きな特徴です。4学年合計で約200名の部員がおり、部員の約半数が体育専門学群以外の学群に所属しています。中には医学群医学類に所属しながら活動する部員もいます。様々な価値観を持った部員がいるからこそ、試合分析やデータ分析、SNS活動、地域貢献活動、ホームゲーム活動など様々な分野での活動が行われています。大学サッカーを牽引し続け、筑波大学に関わる全ての人を熱くする存在になれるよう精進してまいります。

(寄稿／蹴球部主務 保坂拓哉・社会学類4年)

2020年度筑波大学入学式（2020年度入学生向け）



令和6年3月13日、大学会館にて2020年度筑波大学入学式が開催された。卒業生が入学当時、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度の入学式が行われなかったことを背景に実施されたものである。開催にあたっては、全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議(全代会)が企画し、20年度生の入学を祝福した。

令和2年度入学生の皆様、ご入学、そしてご卒業おめでとうございます。先輩方が新たな門出を迎え、このつくばの地から飛び立つ前に入学を祝えたことは、在学生である我々にとってとても意義深いものでした。なぜなら、先輩方が会の主役となって楽しんで、喜ぶ様子を拝み、その時間を我々後輩が共に過ごすことができたからです。

先輩方の大学生活は、入学式の中止に始まり、その後のイベントでも感染症対策のために規制や中止に追われ続けるといった、決して思い描いた始まり方ではなかったかと存じます。そのまさに「逆境」とも言える中で、先輩方は当時の状況下でできることを模索し後輩への橋渡しをしてくださいました。

また、学類新歓や新入生歓迎会では、我々後輩を暖かく迎え入れ、学生生活の道しるべを示してください、やどかり祭や雙峰祭では右も左もわからなかった我々を優しく支えてくださいました。先輩方がその温かい心と慈悲で我々を包んでくれたからこそ、後輩が活気と他者への優しさに溢れた学生生活を送れているのではないかと思います。

先輩方が新たな境地へ向かう前に、一緒に思い描いていた大学生活の1ピースを補うお手伝いできていたらまたとない幸せです。成功と幸福が道を照らし、希望と喜びが常に先輩方を包みますように。令和2年度入学生の皆様、ご入学、そしてご卒業おめでとうございます。
(寄稿／全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議広報委員 篠崎健太・日本語・日本文化学類3年)

紫峰ギャラリー

こちらのコーナーでは、課外活動団体の日々の活動の写真を通して紹介しています。今回は芸術系サークル連合会より、応援部WINSとE.L.L.(筑波軽音楽協会)の活動の様子です。

応援部 WINS

箱根駅伝予選会応援

第 12 回桐華祭



E.L.L.(筑波軽音楽協会)

文化系サークル館 A 室での月例ライブの様子

令和5年度 課外活動団体援助金系別配分額について

令和5年度課外活動団体援助金の総額は 2,130 万円で、3月13日の筑波大学紫峰会基金運営委員会にて通常活動に対する一般援助金を 1,060 万円、宿泊交通費に対する遠征援助金を 1,070 万円とし、系別配分額が承認されました（下表参照）。

系別配分額は全課外活動団体から提出された過去1年間の収支計算書を三系それぞれで査定・集計し、学生財務会議（文化系サークル連合会、芸術系サークル連合会、体育会、全代会の代表者で構成）で議論・作成したものです。

その後、全ての課外活動団体（134 団体）に対して課外活動団体援助金を支給しました。

令和5年度 筑波大学紫峰会基金課外活動団体援助金系別配分額 (円)					
		文サ連	芸サ連	体育会	合計
援助金総額	援助金総額	2,189,885	2,537,315	16,572,800	21,300,000
	総支出	32,342,263	63,012,745	345,450,348	440,805,356
一般援助金	援助金額	1,355,188	1,937,649	7,307,163	10,600,000
	総支出	17,896,362	48,118,471	190,384,707	256,399,540
遠征援助金	援助金額	834,697	599,666	9,265,637	10,700,000
	総支出	14,445,901	14,894,274	155,065,641	184,405,816

令和5年度 課外活動団体援助金額ランキング

筑波大学紫峰会基金では、毎年三系の加盟団体に対して課外活動団体援助金を支給しています。この援助金は団体が過去1年間に活動した実績に対するもので、学生が中心となって配分額を作成しています。

課外活動団体援助金支給までの流れ

- ①筑波大学紫峰会基金運営委員会で課外活動団体援助金の予算額を決定
- ②各団体の会計がその団体の1年分（10月～9月）の収支計算書と領収証等を三系の財務局に提出
- ③各系の会計局を中心に提出された収支計算書と領収証等を査定し、折衝用の基礎資料を作成
- ④三系代表学生の自主的な折衝（学生財務会議）を経て系別配分額案を作成
- ⑤筑波大学紫峰会基金運営委員会で系別配分額案を承認
- ⑥系毎に加盟団体別の援助金額を決定
- ⑦課外活動団体援助金を全団体に支給

なお、各団体の援助金入金確認と利用状況については、毎年全課外活動団体に対して実施している会計面接の中で確認しています。

今回は3月末に援助対象の134 団体へ支給しました。令和5年度課外活動団体援助金（総額 2,130 万円）の中で、援助金額の多い上位 10 団体を紹介します。

令和5年度 課外活動団体援助金額 TOP10 (円)								
順位	文化系サークル連合会		芸術系サークル連合会		体育会		医学部会	
1	海洋研究会	336,477	混声合唱団	374,940	硬式野球部	2,179,002	医学バドミントン部	365,601
2	TOJO K-ON	296,851	津軽三味線倶楽部無絃塾	327,872	蹴球部	1,542,070	医学陸上競技部	338,328
3	歌留多部	208,234	管弦楽団	239,569	バドミントン同好会	663,773	医学アイスホッケー部	320,744
4	斬桐舞	208,157	ジャズ楽団	164,082	女子ハンドボール部	549,647	医学スキー部	319,830
5	現代視覚文化研究会	162,041	吹奏楽団	160,926	女子バスケットボール部	528,632	医学ゴルフ部	255,220
6	天文研究会	70,895	筑波音楽協会	157,915	ラグビー部	526,404	医学水泳部	161,716
7	つくば鳥人間の会	70,590	アカベラサークルDoo-Wop	115,768	馬術部	475,789	医学ハンドボール部	159,073
8	野生動物研究会	68,164	競技ダンスサークル 舞研	107,579	女子サッカー部	467,696	医学サッカー部	152,418
9	写真部さくら組	55,115	JAZZ愛好会	107,545	バドミントン部	459,002	医学ヨット部	142,173
10	社会福祉研究会	53,731	応援部WINS	73,190	陸上競技部	442,655	医学バスケットボール部	137,347
	全33団体合計	2,189,885	全30団体合計	2,537,315	全53団体合計	13,777,600	全18団体合計	2,795,200